



Topics

若手監督員と若手現場代理人が 率直な意見交換

【宇都宮支部】



宇都宮建設業青年の会(菊池祥一会長)は令和5年9月11日に河内庁舎で宇都宮土木事務所若手監督員(8名)と若手現場代理人(8名)の意見交換会を実施しました。

議題は①賃金について ②変更契約について ③報告の行き違いについて ④働き方について ⑤先進・ICT技術について ⑥コミュニケーション1について ⑦コミュニケーション2について ⑧苦情についての8項目と建設業界または建設現場が直面する課題であったこともあり、本音で忌憚のない意見交換となりました。議題によっては過激な発言も見られたものの、十分に相手の立場を尊重し、解決策や対応策を真剣に模索しながらの議論となりました。会の冒頭に宇都宮土木事務所の鶴見幸一次長兼企画調査部長が「起こりうる想定外の展開にも適切に対応しなければならない。より良いものを作るため、監督員と現場代理人が一体となり課題を解決することが重要」とあいさつされた内容がまさに具現化された意義ある意見交換会となりました。



(岩原産業(株) 岩原正樹)

鹿沼支部 創立100周年記念式典

【鹿沼支部】



宇賀神支部長による冒頭の挨拶

令和5年11月10日、栃木県建設業協会鹿沼支部創立100周年記念式典を鹿沼市のニューサンピア栃木で開催しました。

福田富一栃木県知事をはじめ、佐藤信鹿沼市長、五十嵐清衆議院議員、高橋克法、上野通子両参議院議員、神谷幸伸栃木県議会議員、県出先事務所長、谷黒協会長はじめ正副会長、各支部長、鹿沼支部歴代支部長ら40人を来賓に招き鹿沼支部会員が出席し、総勢80人が100周年を祝いました。

鹿沼支部は1923年(大正12年)1月に栃木縣土木建築請負業組合の上都賀支部鹿沼工区として発足し、昭和26年に現在の名称であります栃木県建設業協会鹿沼支部と改称されました。

記念講演として元衆議院議員の金子恵美氏を招き「話題のニュースを読み解く」と題し住み続けられるまちづくりをテーマに講演をしていただきました。

支部創立100周年を迎え、先人のご尽力に感謝するとともに、新たに「100年さきの未来へ」のキャッチフレーズのもと、「地域の守り手」「地域の創り手」として、社会基盤の維持保全や防災活動など県民・市民の皆様の御期待に沿えるよう励んでいく所存です。

100周年記念事業にご尽力いただきました、支部長、100周年実行委員会の皆様に感謝申し上げます。



((株)半貫建設 半貫昌英)



「とちぎ子どもの未来創造大学」の開催

【日光支部】



滑車の学習

令和5年9月24日、日光だいや川公園において「とちぎ子どもの未来創造大学」を開催しました。

講座名を「地域を守る建設業の秘密!建設ガジェット大研究～工事現場で働く様々な機械に乗ってみよう!!」とし、事前に登録した子どもたちと保護者の方に参加していただきました。会場の設営や講師は日光支部会員や青年の会会員が担当し、今回のイベントを開催することができました。内容は、紙芝居「道路ができるまで」、パネル展示の説明「日光市内における災害復旧と除雪作業」、重機の搭乗体験では、会員の補助を受けながらバックホウで丸太を掴んで動かす操作、トラッククレーンで吊るした重りを狙った位置に置く操作を体験。コンバインドローラでは空き缶を潰しながら進み、高所作業車に搭乗し遠くの景色まで望めることに驚いていました。滑車の学習では、重さ20kgの水タンクを6本のロープで引き上げる実験を行いました。



「紙芝居 道路ができるまで」



「バックホウ操作体験」



「トラッククレーン操作体験」



「高所作業車搭乗体験」

と思います。

(斉藤建設(株) 斉藤一明)

より良い現場づくりへ 真岡土木事務所との技術者交流会

【芳賀支部】



土木事務所職員との交流会

令和5年8月3日、真岡土木事務所との技術者交流会を開催いたしました。芳賀支部からは38名、真岡土木事務所から13名が参加しました。冒頭、松本技術委員長は「技術者同士の意思疎通、顔合わせをしてコミュニケーションがとれていれば、お互いの人となりを知ってギクシャクすることがなくなり、業務がスムーズに運ぶようになる。そこで、開催時期を昨年(2023年)の11月から、現場工事が本格化する前の8月に前倒しして開催することにした」とあいさつ。また、佐野次長は「建設業界のホットな話題について、発注者と受注者が意見を交換することは非常に有意義なことだと思っている」と述べました。



佐野次長あいさつ

参加者はそれぞれ6班に分かれ、自己紹介で場を和ませてから意見交換会を開始。30分後には組み合わせを変更し、多くの人と交流が図れるようにしました。話題としては特に、週休2日制、ICT施工についての課題について意見交換。天候や工程管理に左右される現場での週休2日達成が難しいこと、マニュアル不足、施工範囲が狭い現場の苦労話を共有しました。その他、熱中症対策、働き方改革、安全管理、ワンデーレスポンス、埋設物の対応、情報共有システムなど、各種課題等についても意見交換をしました。

発注者も含め、現場でのコミュニケーションがとれていれば、事故ゼロ、ミスゼロになり、より良い現場づくりに、繋がっていくと思います。

(松本建設(株) 松本敬介)



児童の記憶に残る授業 総合学習支援活動

【塩谷支部】



塩谷支部建青会 塩谷町立玉生小学校

令和5年9月15日、塩谷支部建青会は塩谷町の玉生小学校で会員企業から30人が参加し、全校児童120人に建設機械の操作や搭乗を体験し楽しみながら建設業の魅力や役割について学んでもらえるよう、総合学習支援活動を実施しました。

塩谷支部建青会の保護の下、バックホウやタイヤローラー、高所作業車、振動ローラーに搭乗。会員から各機械の特徴や役割の説明を聞き、建設機械のすごさや操作の楽しさの魅力を感じてもらいました。

搭乗体験した児童たちは、元気良く驚きと歓声を上げて喜んでいました。



高所作業車での搭乗体験

建設業は道路や建物などを作ったり、直したり、雪の日は夜明け前に除雪を行い、皆さんが安心安全な生活を送れるように陰で支えていることを児童に説明しました。

総合学習支援活動を通じて建設業の役割、魅力、建設機械への興味を少しでも感じてもらい、将来は建設業の仕事をやってみたいと思ってくれることを願っています。
(友建工業(株) 小菅秀樹)

那須清峰高校 インターンシップ

【那須支部】



測量実習 土木

令和5年9月4日から9月8日までの5日間、那須支部にて栃木県立那須清峰高校の建設工学科2年生(土木コース17名・建築コース12名)のインターンシップの受け入れをいたしました。



座談会

1日目は那須支部会館にてオリエンテーション、「建設業とは」の講義、安全講話を行い、那須支部管内の現場見学を実施しました。



測量実習 建築

2日目は土木コース・建築コースに分かれて測量の講習、演習、実習、3日目4日目は各会社に配属され企業内での実習、最終日はICT建機の試乗とドローン操作体験の予定でしたが、雨天のため急遽吹き出し訓練を行い、昼食にカレーを作り試食いたしました。その後の各社長が参加してのグループごとの座談会においては、建設の仕事や建設会社についての活発な意見が出され、それらに答える社長の話を熱心に聞いておりました。

今後も今年度のインターンシップの内容について、学校側と意見交換し、双方にとってより有益で建設業界の担い手育成となるインターンシップ事業を構築してまいります。

(マルホ建設(株) 星 豪紀)



山あげ祭応援クリーン作戦

【烏山支部】



山あげ祭応援クリーン作戦

令和5年7月11日、烏山支部では4年ぶりとなる「山あげ祭応援クリーン作戦」を実施いたしました。JR烏山線の開業100周年記念事業と合わせ規模を拡大し、那須烏山市・烏山土木事務所・地元自治会等との合同開催により実施。参加者110名が、JR烏山駅・山あげ会館周辺及び国道や県道沿線のゴミ拾いや除草に汗を流しました。



那須烏山市が全国に誇る「山あげ祭」に合わせた活動により、大勢の観光客に楽しんでいただけるよう、地域住民からきれいな街、きれいな道路と言ってもらえるよう、参加者は山あげ会館前広場にて出発式を行い、その後9班に分かれ清掃活動を実施いたしました。

今後も、歴史と伝統を誇る「山あげ祭」の存続や住みよい街づくりを実現するため、そして道路管理の必要性を広く市民にPRし、公共事業の重要性を理解していただくため、烏山支部会員一丸となって、安全安心な道路管理に傾注し、クリーン作戦等の愛護活動に努めて参ります。

(株)荒川建設 中山靖之

足利尊氏公マラソン大会 道路クリーン作戦

【足利支部】



道路クリーン作戦状況

令和5年11月2日(休)午前9時から、栃木県安足土木事務所や足利市の皆さんと、私たち建設業関係団体と一緒に、地域貢献とコースの環境美化活動の一環として、「足利尊氏公マラソン大会道路クリーン作戦」を実施しました。

昭和53年に「第1回さわやか健康マラソン大会」としてスタートしたこの大会も、平成11年には名称を「足利尊氏公マラソン大会」に変更し、今年で第46回を迎えました。今年の大会では、ハーフ、10キロ、5キロ、3キロ、3キロペアの部門に、市内をはじめ関東一円から3,400名を超える皆さんが参加し、歴史と文化にあふれるきれいなコースを爽快に走っていただきました。



これからも、このマラソン大会の開催が地域振興や地域経済の活性化に繋がること、また参加された方々が足利の素晴らしい魅力を再発見し、改めて足利のファンやリピーターになっていただけることを期待しています。

(三興工業(株) 山根良樹)